

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、「日本をオリジンとしたグローバルホテルチェーン」を掲げ、国内外へのネットワーク拡大と運営ホテルのパフォーマンス向上による成長を目指す中、企業経営において、お客さまや株主にとどまらず、従業員、取引先、地域社会、債権者をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その結果、生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、持続可能な社会の実現につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、社会情勢や自社の状況を踏まえた適切な時期と方法で、賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、福利厚生充実や職場環境の整備、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、当社を取り巻く経営環境や業績・中長期的な見通し等を踏まえて従業員への持続的な還元に取り組んでまいります。また、教育訓練等については、通信・通学講座の受講促進や資格取得支援に加え、海外研修や外部研修への派遣等の実施により従業員のスキルアップに取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/121227-14-00-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、全ステークホルダーの利益を重視し、持続可能な成長を通じて、お客さまや株主、従業員、取引先、地域社会、債権者といったトータルステークホルダーのサティスファクション向上に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2025年3月27日

(2026年1月20日 パートナーシップ構築宣言の改定による更新)

株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 代表取締役社長 金田 佳季